



患者様にお薬をお渡しするまで...



いつも、あおば薬局・コアラ薬局をご利用頂きありがとうございます。
薬局では、お薬を正確且つ安全にお使いいただくために、いくつかの段階を経て患者様にお渡ししています。
そこで今回は、お薬をお渡しするまでを分かりやすくご紹介したいと思います。

① 受付

※受付時に必要な物：処方せん、お薬手帳、保険証(必要時)

医療機関で発行された処方せんを患者様にお持ちいただきます。処方せんと一緒に、お薬手帳もお預かり致します。また、保険証を確認させて頂くこともございます。

② 入力



Q. 病院でも保険証を見せたのに、薬局でも見せるの？

A. もし、処方せんに記載されている番号が間違っていたり、保険の資格を喪失していたりすると、患者様にあとからお薬代を支払っていただくかなければならないといったお手間をお掛けすることにもつながります。保険証の提示に、ご協力いただきますようお願い致します。

お預かりした処方せんを確認しながら

③ 調剤



調剤とは、処方せんに基づきいろいろな薬剤を調合することです。処方されているお薬を集めたり、粉砕錠剤のお薬を粉状にすることすることもあります。軟膏や粉薬、シロップ剤同士の混合、一包化(同じ服用時間のお薬を一つにパックすること)の場合はお時間がいただくことがあります。

④ 鑑査

年齢や体重などからお薬の量が適切であるか、お薬手帳を確認しております。また、飲み合わせの悪いものや重複してお薬が処方されている場合など、薬剤師の視点から確認が必要と思われることがあります。医師に問い合わせをしております。そして処方せん通りにお薬が調剤されているかを確認します。お薬を患者様にお渡しする前の最終確認作業のため、丁寧に監査を行っております。

⑤ 投薬



患者様にお薬をお渡しします。症状をお聞きしながらお薬の用法、用量・

効果・副作用の初期症状・保管方法等を薬剤師がご説明致します。患者様とお話の中から、副作用が起きていないかといった確認も行っております。安心してお薬を服用して頂くために、一人一人に合ったご説明を心がけております。



Q. なぜ、病院で聞かれた症状の事をまた聞くの？

A. 症状と処方されている薬の内容があっているか確認するためにお聞きしています。ご理解くださいませようお願いします。

⑥ 会計

投薬終了後計算し、薬局でのお支払いをして頂きます。負担割合によって会計も異なります。カード支払いが可能な店舗もございます。

以上①～⑥までが、処方せんをお預かりしてから、患者様にお薬が届くまでの流れとなります。

もしも、処方せんの中身に患者様にとって不都合な点があったり、患者さまの体質に合わない薬があったら…。

こうしたリスクを避けるために、薬剤師は処方せんやお薬手帳・過去の薬剤服用歴などの確認を注意深く行っています。

体調のすぐれない中、お待たせして

しまうこともあります。正しく安全にお薬をご提供することが調剤薬局の大切な役割です。ご理解のほどよろしくお願致します。

患者様にお薬をお渡ししてから...

患者さまをお見送りした後も、薬歴と呼ばれる患者さまのお薬処方歴に、今回処方されたお薬の内容、副作用歴、アレルギー、ご説明内容・ご質問等を記録しています。

あおば薬局、コアラ薬局では薬歴の記録をiPadを利用した電子薬歴で行っております。投薬時、薬歴記載だけでなく、患者様の質問に素早く正確にお応えできるように活用しております。

残薬調整

お手持ちのお薬が余っている場合、余っている数を医師に伝えて、日数を調整して頂きましょう。診察の段階で伝え忘れてしまった場合、薬局にてお申し出いただければ、医師に確認して日数を調整させて頂きます。お気軽にご相談下さい。

一般用医薬品

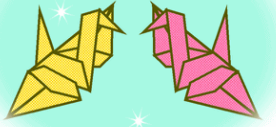
あおば、コアラ薬局では一般用医薬品も取り扱っております。薬剤師が処方薬やアレルギー、過去の副作用などを確認した上で、販売させて頂きます。

その他、わからないことや不安なことをごございましたら、遠慮なくご相談ください。



(深澤)

原水禁世界大会へ長崎へ に参加して



2015年8月7日～9日にかけて長崎市で開催された原水爆禁止世界大会へ、あおば・コアラ薬局から2名の職員が参加をしました。前月号に続き、参加職員の感想を報告させていただきます。

今年是被爆70年の節目ということ、そして今の日本の平和を根底から覆す安全保障法案の議論がなされているタイミングだったこともあり、開会総会から人々の熱気であふれていました。私は初めて参加したのですが、日本中のみならず、核保有国含む世界中からも多くの方が参加した会場に、非常に圧倒されました。一人一人が平和への思いを壇上で話されるたびに拍手が沸き起こり、住む場所は違えど、平和を願う気持ちは一緒なのだと思うことができました。



壇上でスピーチする谷口さん

その中でも、特に印象深かったのは被爆者代表として挨拶をされた谷口稜(すみてる)さんの言葉です。谷口さんは原爆による熱線が背中に大やけどを負い、1年以上もうつぶせのまま生死の境をさまざつた壮絶な経緯をしている方です。その方は「政府の戦争法案が許せない。核兵器廃絶の運動を覆し戦争の時代に逆行するものだ」と力強くおっしゃっていました。戦争を知らない私にとつても、悲惨な大やけどのパネルを見て、言葉では言い表せない悲しみを感じる事ができました。谷口さんの一言一言が、今の日本についてこれでもいいの?と問いただしているように感じました。

2日目は「原発と核兵器」の分科会に参加しました。原発はなぜ作られ、どういう経緯で広がっていったのか歴史を勉強すると共に、3・11で発生した福島原発の事故の現状と課題、また再稼働してしまった川内原発の問題、伊方原発の再稼働を阻止しようとする取り組みなど、盛りだくさんの内容でした。福島の原発問題は以前に比べてマスコミの報道が少なくなっています。が、未だ11万人以上が避難されている現状があります。それと反比例して打

ち切られていく賠償問題が、政府と東電の無責任ぶりをはつきりと浮きあがらせているのではないのでしょうか。原発も核燃料であり、核兵器と同様、一度の過ちが多数の犠牲を生み出すものです。決して人類と共存はできません。今の福島を見ずに、原発再稼働を進めようとする政府の対応に、今後も強く反対していこうと思えた分科会でした。



慰霊碑と爆心地の空

最終日の8月9日は長崎に原爆が投下された日です。この日は私は爆心地に行きました。とても青く澄み渡った空が、70年前のこの日に長崎の街を一瞬で焼け野原にしてしまったと思うと胸が痛みました。そこに生きていた人が一瞬でいなくなる、大切な人を見るも無残な姿にされてしまう、想像を絶する世界だったのでしよう。アメリカ国内では未だに戦争を早く終わらせるためには仕方ないことだったと言う人

がいるのだそうです。はたして、核保有国の言い分が被爆者の方たちを目前にして言えるのか、聞きたいと思いましたが、核や兵器を使用することは大義名分があれど、悲しみを生む悪でしかないと思います。

3日間の行程を終え、核の恐ろしさに触れた今、私はただの傍観者ではないいけないと強く思えるようになりました。戦争を経験し、世界で唯一被爆国となった日本だからこそ、平和の尊さを誰よりも理解できるのではないのでしょうか。被爆者の平均年齢も80歳を超え、必死に後世に伝え残そうと努力しています。今度私は私たちが今ある平和をつなぐために知識を蓄え、行動する番だと思えます。そのためにも継続的な署名活動をこれからも行っていきたいと考えます。

参加者：松岡美穂(渋谷川店)

編集後記

新米の季節がやってきます。美味しいご飯の炊き方を紹介します。

★計量カップで米をきっちり計ります。

★研ぐ前にさつと洗う。水をはった容器に、米を一気に入れ、手でざつとかき混ぜ、濁った水はすぐに捨てます。スピードが肝心です。

★米の研ぎ方
新米の場合、手指を立て、力を入れずに円を描くように軽く研ぎます。11月～4月の米は、3～4回研ぎ、すぎ2回が目安です。

★浸水時間は新米で40分～1時間

★水加減を正確にするために：水を充分に吸った米はザルにあげて、10回程度ザルを上下させて余分な水けをきります。

★水加減
お米を計った同じカップできつちりと水加減をしましょう。

炊き上がりが楽しみです。テロの教える炊き方参照 望月

★みんなの絵★